

学校教育自己診断の結果について

茨木市立彩都西中学校

校長 増野 浩典

平成31年2月に学校教育自己診断を実施しましたところ、保護者の皆様におかれましては、多数の回答をいただきありがとうございました。

この学校教育自己診断は、本校の教育活動の成果を検証するとともに、生徒の実態や保護者の方々のニーズに対応できているか点検し、今後の教育改善のための方策を明らかにするために実施するものです。

また、自由記述欄につきましても忌憚ないご意見ありがとうございました。このたび学校としての考え方をまとめましたので回答させていただきます。今後はこの結果やいただきましたご意見等をも参考にし学校運営に努めてまいりますので、よろしくお願いします。

回答については、各項目につき、①あてはまる、②だいたいあてはまる、③あまりあてはまらない、④あてはまらない、の4区分で判断していただきました。①と②を合わせたものの割合を肯定的な意見として示させていただいております。

（結果分析）保護者アンケート回答率 87.0%

「学校生活は楽しい（生徒 89.2%・保護者 88.2%）」及び「彩都西中学校は、良い学校だと思う（生徒 81.9%）」について、学校全体として高い評価をいただいております。開校からの教育活動を継承しながら、今後も充実発展させていきたい。

昨年度一番の課題であった、「今の自分に満足している（生徒 39.4%→43.8%・保護者 55.4%→60.9%）」、「みんなの前でもはっきりと自分の意見が言える（生徒 48.3%→50.0%・保護者 57.3%→59.7%）」については、昨年度の値と比較し、向上しているものの、全項目の中でも低く、今後も生徒の自己肯定感を高めるための取り組みを積極的に行いたい。

今年度、生徒アンケートにおいては、昨年度と比較して多くの項目で肯定的な意見が向上することができた。この一年間の教育活動全体に対しての評価と受け止め、次年度以降さらに向上できるよう学校全体として取り組んでいきたい。

◎ 肯定的な意見が向上するまたは高水準を維持している項目

➤ 授業改革

「学校の授業は楽しい（生徒 62.3%→66.1%）」、「学校の勉強はよくわかる（生徒 75.1%→77.7%）」本年度、本校では学力向上部が中心となって、“主体的・対話的で深い学びに向けてどのように授業を展開していくか”というテーマで、教員の授業研修を最優先事項として、行ってきた。少しずつではあるが、その成果が表れたと考えている。

➤ 緊急時対応及び学校施設

「地震や火災が起こった場合に、どうしたらよいか知らされている（生徒 93.3%）」「学校の施設や学校で使う道具や器具を大切に扱っている（生徒 96.8%）」本年度、大阪北部地震の経験を踏まえ、校内で緊急時の生徒の安全確認方法の見直しを行った。

➤ 保護者の方への情報提供

「学校の様子を懇談や学年便り・学校便り・ホームページなどでよく知ることができている。（保護者 78.6%→85.2%）」「学校は保護者や地域の人が授業を参観する機会を設けている（保護者 95.9%→97.6%）」今後も開かれた学校を目指し、さらに改善していきます。

◎ 肯定的な回答が減少した項目

➤ 生徒対応

「今のクラスは、自分の思っていることが言いやすい雰囲気がある。（生徒 70.8%→67.1%）」
「今のクラスは、頑張っていることを認める雰囲気がある。（生徒 75.2%→69.8%）」「先生はあなた（お子さん）の気持ちをわかってくれる。（生徒 73.7%→70.4%）（保護者 73.8%→67.5%）」クラスの雰囲気を良くないと感じている生徒が多く、昨年度と比較しても増えてしまっている。この事実を教職員一同、真摯に受け止め、道徳や特別活動などの授業を通じて改善できるよう取り組んでいきたい。また、会議や行事などを精選することで、教員が生徒と向き合える時間が作れるように学校体制で取り組みます。

➤ 地域交流

「学校では、授業やクラブ活動などを通して、校区の小学校や幼稚園・地域の人々と交流する機会がある。（生徒 52.5%→43.0%）」学校としては、昨年度と同様の学校行事を行った。一方で、臨時休校などの影響で、教科授業数の確保の問題もあり、それぞれの取り組みを慌ただしく行っていた部分があった。一つ一つの取り組みを充実させるため、行事の精選等を行い、余裕のある年間予定を立てたい。

（保護者自由記述欄の主な回答）

◎ 授業・評価に関すること。

- 定期テスト前に授業を詰め込むのをやめてほしい。
- 定期テスト一週間前以外にも学習会を行ってほしい。
- 定期テストの問題数が多いすぎる。
- 定期テストの平均点を公表してほしい。
- テスト以外の評価があいまいでわかりにくい。

回答）各教科の学習進度については、次年度から導入される市内統一のシステムを用いて、計画的に進めてまいります。評価については、わかりやすい評価になるよう検討を進めてまいります。

◎ 情報提供に関すること。

- 学校だよりが親に回ってこない。その月の予定や様子がわからない。
- 学校生活の写真を販売してほしい。
- 学級閉鎖のメール配信を当該学年だけでなく、全学年に送付してほしい。

回答）学校だよりは学校のホームページに掲載しております。学級閉鎖のメール配信は、今後全学年に送付いたします。写真屋さんが入っていない学校生活の写真販売の予定はありません。

◎ 学校生活に関すること

- 学校で悩みなどがないか定期的にアンケートを取ってほしい。
- 遅刻の基準がクラスごとで異なっている。
- 体育館シューズやスリッパを茨木商店街に購入に行くのは大変だ。
- スリッパを緊急時に走ることができるようなものに変更してほしい。
- 制服の上にカーデガンの着用を認めてほしい。
- スクールカウンセラー等の具体的な活用方法がわからない。
- 席替えの方法をくじ引きにしてほしい。
- 夏や冬の教室内の温度管理を適切に行ってほしい。
- 雨の日の廊下や階段が濡れている。
- プールの汚れがひどい。

回答）生徒に対しては、学期ごとにアンケートを実施し、回答に応じて担任等から聞き取りを行っています。遅刻の基準については、クラス差がないように校内で適切に対応します。体育館シューズ・上靴（スリッパ）については、学校でも購入が可能です。上靴の安全性については、校内で検討させていただきます。席替えについては、グループ学習や班活動が行いやすいように、くじ引きではなく、班長会議で行っており、今後も変更する予定はありません。生徒が不公平感を感じないよう、目的も含めて各学級で丁寧な説明を実施しています。エアコン等の使用については、教育委員会の基準に合わせて適切に対応します。

◎ 学校行事に関すること。

- 学年によって、参観懇談の日や時間を変えてほしい。
- 1学期と2学期の参観授業の教科を変えてもらいたい。
- 授業参観日以外でも授業の様子を見に行きたい。
- 三者懇談ではなく、二者懇談を行ってほしい。(1・2年)
- 年度末にも個人懇談を行ってもらいたい。
- 年度初めの家庭訪問に必要性を感じない。
- 体育大会に楽しい種目を入れてほしい。

回答) 1学期と2学期の参観授業の教科は重ならないようにさせていただきます。体育大会については、体育や学活の中で事前に練習できる時間が限られており、現在の形を変更する予定はありません。保護者の方に来ていただきやすい授業参観日の在り方については、今後検討させていただきます。授業参観日以外の日について、いつでも来校いただけたらと思います。来校された際に職員室にお声掛けください。

◎ 部活動に関すること。

- 部活動の数を増やしてもらいたい。
- 土日のどちらかを休みにしてもらいたい。
- 土日の予定が頻繁に変わり、直前になるまでわからない。
- 学校の電話がつかない時間帯があり、朝練や土日の試合の欠席連絡ができなくなった。
- 大会等の中止の連絡方法を考えてほしい。今は駅に行かないとわからない。

回答) 部活動の種目については、毎年検討させていただきます。今年度開設している部活でも、来年度指導者が転勤した場合等は募集をしないこともあります。土日の活動については、4月以降大会等がない場合は、いずれかを休みにします。朝練の欠席連絡は必要ありません。休日の大会も含めた連絡方法については、校内で検討しますが、外で活動する部活動については、雨天時でも待機指示が出る大会も多くあり、困難な現状があることもお知りおきください。

◎ 学校施設に関すること。

- 男子更衣室を設置してほしい。
- 購買部を作ってほしい。

回答) 学校施設内において、購買部を設置することは、茨木市として認められておりません。男子更衣室の設置は、学校施設の使用状況から困難ですが、各教室の廊下側にカーテンがつけることができるように教育委員会に働きかけを行っています